

「相容れない両雄」



勝海舟と福沢諭吉。江戸城を開き、大きな混乱もなく明治への橋渡しをした政治家。教育、思想、言論で日本の近代化に貢献した啓蒙家。ともに幕藩体制の限界を悟り、西欧文明による近代化の必要性を感じていた。だが仲は悪かった。特に諭吉が海舟をひどく嫌った。不幸な出会いの場は咸臨丸だった。

ペリー艦隊が国を開いた4年後。幕府は通商条約の同意書交換のため、使節団の派遣を決定。正使一行は米国軍艦で渡航。その護衛と幕府海軍の実習のため別船を用意した。咸臨丸である。提督は木村喜毅。使節団の副使も務める若きエリート。財産を売り払い三千両もの資金を用意した。温厚にして思慮深い。貴人の風格を備えていた。木村は艦長に海舟をあてる。米国行きを強く望み、海軍創設に寄与したことも評価していた。

諭吉も渡米を熱望していた。友人を通して木村を紹介してもらった。木村の身の回りの世話をする従僕として許可された。木村は、日本人だけで万里の波濤を越えられるか不安だった。いざという時のため、経験豊かな米国軍人を同艦させた。

1860年1月、浦賀を出港。洋上に出るや否や、北太平洋の荒波に翻弄される。37日の航海中、晴天は6日ほど。乗組員の多くが船酔いと疲労で寝こむ。操船どころではない。特に海舟はひどく、ほぼ部屋に閉じこもっていた。木村はやむなく米国軍人に指揮を委ねた。

船中での海舟の態度には誰もが失望した。本来、自分が全権を持てる筈なのに、上級旗本で7歳も年下の提督がいる。面白くない！指揮もとれない屈辱。木村の相談事にも、どうぞご勝手に、俺は反対だ。ある時は癩癩を起し、レポートをおろせ、日本に帰る、という始末。あまりの八つ当たりにも木村も手を焼いた。だが、木村は勝の非凡さを承知しており、ここでの非礼は口外しなかった。

諭吉は木村の世話をしているうちに、誠実さと責任感に尊敬の念を持った。木村も諭吉の働きに感謝し、その学識と向上心に敬意を払い、先生と呼んだ。下僕の自分が先生とは。木村は諭吉の生涯の恩人。維新と同時に隠遁した木村を、物心両面で支えた。一方、敬慕する木村をいじめる海舟への反感は募った。

ようやくサンフランシスコへ着く。諭吉は近代文明を感じようと精神的に動いた。政治や社会制度の違いに衝撃を受ける。海舟も文明の差に圧倒された。これが幕府の近代化を進める原動力になった。

明治24年『瘡我慢の説』で諭吉はこう論ずる。国が衰えた場合、勝算がなくて力の限り抵抗することが瘡我慢。その上で講和を申し入れるか、死をとるかを選択すべき。これが立国の精神だ。敗北や死を厭わぬ三河武士の気風が、家康に天下をとらせた。国家は瘡我慢の精神なくしては成り立たない。

だが維新の際、海舟はこれを踏みにじた。維新とは徳川と薩長の権力闘争に過ぎない。にも拘らず抵抗もせず江戸城を明け渡した。江戸を戦火から救ったのは評価する。しかし、最初から負けることは評価する。求めたことは、将来に渡り国家存立の気概を失わせた。その罪ははるかに大きいと糾弾する。

さらに許せないのは、幕府の幕引きをした者が、新政府の高官になり、伯爵を受けたこと。武士の風上にもおけない。今すぐ栄誉を捨て隠棲せよと迫る。海舟は「行動の意図は私の心中にのみある。批判や賞賛は他人のすること。私の知ったことではない」。見事な切り替えし。

諭吉さんよ、おめえさんには、人間や政治の複雑怪奇さは分かるまいよ。海舟先生、そうは言っても、曲げてはならない筋があるとは思いませんか。二人の埋めたい溝は咸臨丸の一件が生んだのか。そもそも性格や生き方が交わらないものだったのか。いずれであろう。

3月の無料相談

種類	開設日	時間	会場・問い合わせ先	内容
弁護士法律相談(要予約)	3日(水) 17日(水)	10:00 ~ 12:00	●新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため当面の間、電話での相談となります。 市消費生活センター ☎②1133 (平日/午前9時~午後5時)	多重債務、離婚・相続問題などのトラブル、被災者の抱える二重ローン問題の相談など
	10日(水) 24日(水)	13:00 ~ 16:00		
市民あつたか相談所	月~金曜日	8:30 ~ 17:15	●本庁舎生活防災課 市庁舎生活防災課内専用電話 ☎②1717	市行政等に関する相談
心の健康相談(要予約)	12日(金)	13:30 ~ 15:00	●県南保健福祉事務所(郭内) 市南保健福祉事務所 ☎②5649	うつ状態、ひきこもりなどに関する相談
交通事故相談	月~金曜日	9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 16:00	市県庁政相談コーナー ☎024-521-4281	損害賠償請求や示談の仕方など
心配ごと相談	9日(火) 23日(火)	10:00 ~ 12:00	●中央老人福祉センター(北中川原) 市社会福祉協議会 ☎②4222	生計、家族に関する相談など
認知症の人と家族の会	21日(日)	13:30 ~ 15:30	●中央老人福祉センター(北中川原) 市同県南地区事務局 ☎②394	認知症本人と家族の相談や話し合いなど
ハートコール(いじめ等相談電話)	月~金曜日	8:30 ~ 17:15	市ハートコール相談専用電話 ☎0800-800-1893 (フリーダイヤル)	児童・生徒のいじめ等に関する相談

3月の休日救急医療当番医

診療日	診療科目	医療機関名	電話番号
7日(日)	小児科	にしごうキッズクリニック	②98725
	内科・外科	渡部医院	④4111
	歯科	九番町歯科クリニック	⑦3711
14日(日)	小児科	わたなべ子どもクリニック	⑩2166
	内科・外科	まつやまクリニック	④12311
	歯科	白河みなみ歯科クリニック	④3730
20日(祝)	小児科	ねもとキッズクリニック	⑩5623
	内科・外科	よしだ内科クリニック	⑩5711
	歯科	サンデンタルクリニック	④8020
21日(日)	小児科	すずき内科クリニック	④4114
	内科・外科	きくち診療所	⑩8672
	歯科	JUN DENTAL CLINIC	⑩8845
28日(日)	小児科	樋口小児クリニック	④2040
	内科・外科	白河市表郷クリニック	③2316
	歯科	いがらし歯科クリニック	⑩6222

【小児平日夜間救急外来】

●場所 白河厚生総合病院 小児科外来 ☎②2211
●時間 午後7時15分~9時15分(土・日・祝日を除く)
※受診するときには、必ず事前に連絡してください。

3月の献金

対象	実施日	時間	会場	所在地
市民	5日(金)	11:30 ~ 13:30	市役所本庁舎	八幡小路
		15:00 ~ 18:00	白河厚生総合病院	豊地
事業者	29日(月)	11:30 ~ 16:00	ベシア 白河モール店	老久保
		10:00 ~ 11:00	白河日東工業(株)	双石
		12:30 ~ 16:30	住友ゴム工業(株) 白河工場	

※日程および事業所は変更になることがあります。

善意の窓 あたためたい善意をありがとうございました。

- 〈育英基金寄付〉 (11月受付分)
♥5万円 荒井智様(久田野)
- 〈愛の基金〉 (12月受付分)
♥20万円 十文字光伸様(北堀切)
♥5万円 角田一郎様(表郷金山)
♥3万円 斎藤宏史様(静岡県)
♥3万円 穂積一典様(表郷番沢)
♥3万円 矢田部兼一様(東千田)
♥5万円 金勝寺ボランティア 佐藤力様

- 〈白河を守ろうコロナ対策支援寄附金〉
♥272,686円 料理グループ様
♥20万円 匿名

- 〈教育振興のため〉
♥10万円 十文字光伸様(北堀切)

- 〈市へ寄贈〉
♥シクラメン鉢 大竹園芸様・ひじりん館様
(株)穂積園芸様
♥サウンド修復ソフト 渡辺修一様(本町)
♥千羽鶴 表郷レクリエーションクラブほか5団体様
♥日展入選 工芸美術作品『大地』 菊地隆様(中田)
♥鏡餅 丸水白河魚市場(株)様